

09 助動詞 *werden*動詞と未来の表現

§ 1 助動詞

【要点】

■ドイツ語には以下のような助動詞があります。

* 日本語の教科書では「話法の助動詞」と呼んでいます。一般に、英語でもドイツ語でも「助動詞」と言い慣わされているものは、言語学の専門から言うと「話し手の考え方、気持ち」を表す表現です。これを専門的には「法(modality)」と言います。そこで日本語の教科書では「話し手の<法>」という意味で「話法の」という但し書きがついているのです。ちなみに、英語では「直接話法」「間接話法」がありますが、これらはドイツ語の場合の「話法」とは何の関係もありません。

デュルフェン

dürfen:[許可]～してよい、[否定文で]～してはならない

キュンネン

können:[可能性]～できる、～かも知れない

ミヨーゲン

mögen:[推量、好み]～かも知れない、～を好む

ミュッセン

müssen:[必然性]～ねばならない、～に違いない

ゾルレン

sollen:[主語以外の意志]～すべきだ、～だそうだ

ヴォルレン

wollen:[主語の意志]～するつもりだ

メヒテン

möchten:[願望]～したい

■文中では助動詞は現在人称変化(定形)して「第2位」の位置に置かれます。以下は助動詞の「現在人称変化」の表です。

話法の助動詞の現在人称変化

主語	dürfen	können	mögen	müssen	sollen	wollen	möchten
ich	ダルフ <u>darf</u>	カン <u>kann</u>	マーク <u>mag</u>	ムス <u>muss</u>	ゾル <u>soll</u>	ヴィル <u>will</u>	メヒテ <u>möchte</u>
du	ダルフスト <u>darfst</u>	カンスト <u>kannst</u>	マークスト <u>magst</u>	ムスト <u>musst</u>	ゾルスト <u>sollst</u>	ヴィルスト <u>willst</u>	メヒテスト <u>möchtest</u>
er/sie/es	ダルフ <u>darf</u>	カン <u>kann</u>	マーク <u>mag</u>	ムス <u>muss</u>	ゾル <u>soll</u>	ヴィル <u>will</u>	メヒテ <u>möchte</u>
wir	デュルフエン <u>dürfen</u>	キュンネン <u>können</u>	ミヨーゲン <u>mögen</u>	ミュッセン <u>müssen</u>	ゾレン <u>sollen</u>	ヴォレン <u>wollen</u>	メヒテン <u>möchten</u>
ihr	デュルフト <u>dürft</u>	キュント <u>könnt</u>	ミヨーグト <u>mögt</u>	ミュスト <u>müsst</u>	ゾルト <u>sollt</u>	ヴォルト <u>wollt</u>	メヒテット <u>möchtet</u>
sie	デュルフエン <u>dürfen</u>	キュンネン <u>können</u>	ミヨーゲン <u>mögen</u>	ミュッセン <u>müssen</u>	ゾレン <u>sollen</u>	ヴォレン <u>wollen</u>	メヒテン <u>möchten</u>

■助動詞が文で使われると、動詞の不定形が文末に置かれます。

例：

ドイッチュ

Ich lerne Deutsch.

私はドイツ語を習います。

* 動詞の定形lerneが「第2位」に置かれています。。

Ich muss Deutsch lernen.

私はドイツ語を習わなければなりません。

* 助動詞の定形mussが「第2位」に置かれ、動詞の不定形lernenが文末に置かれています。

■助動詞が使われた文を否定するときは、文末をnicht + 動詞の不定形の語順にします。

例：

Du darfst hier nicht rauchen.

君はここでたばこを吸ってはいけない。

* dürfenとnichtと一緒に使うと「許可」の否定ですから、「禁止」の表現になります。

§ 3 werden 未来の表現

【要点】

ヴェルデン

■ werden(=become)の人物変化は注意が必要です。

werden

現在人物変化

主語	ヴェルデン werden
ich	ヴェルデ werde
du	ヴィルスト wirst
er/sie/es	ヴィルト wird
wir	ヴェルデン werden
ihr	ヴェルデット werdet
sie	ヴェルデン werden

■ 主語になる名詞の他に主語とおなじ格の補語が必要になります。sein動詞と同様です。

例：

レナ エルツティン

Rena wird Ärztin.

レナさんは女医になります。

* ドイツ語では補語は多くの場合無冠詞ですが、格は主格です。

アルツト

* die Ärztin: 女医 は男性名詞der Arzt: 医師 の女性形です。ドイツ語では職業名は原則男性名詞で、語尾に-inを付けると女性名詞になり、職についている女性を指すことになります。

■werdenを助動詞として使うこともできます。意味は「未来の推測 ～だろう」です。文末に不定形の動詞を置きます。

例：

ウニ

Rena wird an der Aogaku Uni Deutsch lernen.

レナさんは青学でドイツ語を習うでしょう。

ウニヴェアズィテート

* die Uni = Universität